

読売新聞・産経新聞でも報道されました

H23 6/17 西多摩新聞

見本用？

独から支援の懐中電灯 部課長に78本配る

青梅市

青梅市が、姉妹都市「された東日本大震災に」なことが分かった。同市のドイツ・ポツバルト市に対する支援物資を、部市議会の飛弾紀子氏（みどりのオンブズマン）の一般質問で明らかにした。飛弾氏は「被災地への支援」

物資を幹部に配るとは、どういふことなのか。おかしいという声はなかったのか」と追求。竹内俊夫市長は「部課長には防災対策のため見本として配った。おかしいとの声はなかった」と答え、飛弾氏は「深刻な事態」と、同市の倫理観に疑問を呈した。

支援物資は、ポツバルト市在住のルドルフ・ベアシュ氏から提供された手動蓄電池LED懐中電灯1万1千個。4月3日に成田空港に到着し、同市は6月、ホームページ上で「今後、懐中電灯を必要としている被災地に提供する予定」と報告。9日、市は5千個を要

寄付された懐中電灯の行方

「震災と津波の被害にあわれた方たちのものです」というお手紙と一緒に友好都市ポツバルト市民から11,000本の懐中電灯が寄付されました。ところが青梅市は5,000本を石巻市に送った後は、倉庫にしまったまま。しかも部課長ら78人に配っていました。アエロフロートが成田まで無料で運んでくれたのは大震災への寄付の品物だからです。私物化は許されません。6月議会で私が質問したのを傍聴して下さった方の仲介で、その後いわき市に送ることができました。職員に配った分も回収して送ったそうです。配られたときに「寄付されたものを配ってはだめだよ」という声が出なかったのは、とても残念です。

下水道事業の赤字補てん

22年度は赤字を埋めるために、約20億円が一般会計から下水道特別会計に投入されました。これは市の職員211人分（平均で一人当たり950万円）に当たる莫大な税金です。人口密度の少ない地域への公共下水道敷設で下水道の借金はこれから大きくふくらみます。合併浄化槽での整備に切り替え、持続可能な経営をめざすべきです。



選挙の結果

3452票をいただき、一位で当選できました。選挙カーで訴えて回った一週間、手を振って下さった方がいっぱい、熱い思いを感じました。これから4年間またがんばります。

青梅市議会議員〈みどりのオンブズマン〉 ひだ紀子 議会報告 vol.13 2011.11

連絡先: 〒198-0171 青梅市二俣尾2-520 フォレスト青梅201

tel/fax 050-1332-9289 メール midorionbu@msn.com

☆詳しい事はホームページをご覧ください

ひだ紀子 で検索できます



みどりのオンブズマン

青梅市議会議員 ひだ紀子 議会報告 vol.13

今年の春は市議選で私も外で活動することが多かったのですが、帰宅すると震災と原発事故のニュースにくぎ付けになりました。これからどんな社会を築いていくべきか、大きな分かれ道にきています。議員としての責任の大きさを感じます。



新しい青梅市議会には6つの会派があります。

- ・市民クラブ[11人]=自民党
- ・公明党[5人]
- ・改革フォーラム[4人]=ネット・社民党ほか
- ・日本共産党市議団[2人]
- ・改革[1人]
- ・みどりのオンブズマン[1人]=ひだ紀子

おかしいことは
「おかしい！」
と言える町に



一人でも議員としてできることはいっぱいあります。青梅市議会に会派は必要ない、と私は考えています。24人の議員がもっと自由に発言できたら活発な議論がわき起こるのではないのでしょうか!? 本会議場では会派ごとのグループになって座ります。羽村市議会のように会派に関係なく、当選回数順に席を決めればいいのに、と思います。

会派の利益より
市民の利益が
大事ですね!



みどりのオンブズマン 市政報告会

12月3日 (土)

午後7:30

青梅市民会館

皆様のご意見をお聞かせ下さい。



原発事故から思うこと・

強い怒り

福島原発の爆発で 200 キロ以上離れた青梅も放射能に汚染されました。しかし 3 月のあのころ頭上に迫る汚染について、私たちには何も知らされませんでした。

福島ですら多くの人々が知らずに外にいたのです。

私は強い怒りを感じます。

国民を守るといふ基本はどこへ行ってしまったのでしょうか。



3. 11 から

半年してはっきりしたこと

- 原発は少しも低コストではない。
- 原発のごみは、何万年も遺産として残る。
- 一度事故が起これば、放射能汚染は想像していたよりはるかに深刻。

水と緑に恵まれた私たちの国土を二度と放射能で汚したくありません。原発に頼らない社会を作っていきます!!

原発を使わない 電力会社から電気を買う

6 月議会で市に提案したところ、教育委員会はさっそく調査を始めています。

環境にやさしい発電をしている会社から入札で電気を買うと、東電より安くて意外にも大幅な経費の節約になることも分かっています。まずは小中学校の電気から、変わるといいですね。

「給食食材の放射能検査を」

生産地での食品の検査は決して十分ではありません。給食食材を市で検査することが必要です。市は「流通している食物はすべて安全基準内」と言っていますが、検査機を買い、自主的に検査をするべきです。チェルノブイリ周辺で報告されているような小児がんの増加をくい止めるために。

どんどん ゆるめられていく「基準」

震災の復興支援は大切。でもちょっと待って!と言いたいの、放射能に汚染された疑いのあるガレキの受け入れです。ガレキを焼くと灰に放射能が濃縮されます。都内 25 市 1 町の焼却した灰は長淵丘陵にある二ツ塚処分場に運ばれるので、ここに集まる放射能の総量はたいへんなものになるでしょう。以前は一キロ当たり 100 ベクレルを超えると〈放射性廃棄物〉とされ、厳重な管理が課せられていました。ところがこの夏に何と 80 倍も基準がゆるめられて 8,000 ベクレルまで OK になりました。なくずしに安全基準をゆるめることで、放射能物質が拡散する可能性は大きい。安全性を確認できないものは拒否すべきです。それが地域の環境を守ることに繋がります。

(9 月議会で質問)

ひだ紀子はこんなふうにチェックした



行財政改革 これでいいの?



改革の目玉として開かれている行財政改革推進委員会。メンバーは知識経験者 4 名・市民代表 4 名(公募は 2 名のみ)・経営者代表 1 名・労働組合代表 1 名です。この委員が第三者の目で市のやっている仕事にムダがないか、改革すべきところはないか評価をする「外部評価」という一種の仕分けをしています。

ところが去年は委員の中に 2 名の青梅商工会議所の副会頭が入っていました。そしてそのメンバーで商工会議所に年間約 6500 万円も出ている補助金を「外部評価」したのです。

その結果まとまった評価は「この補助金はそのまま継続」でした。自分の組織がもらっている補助金を、きびしくチェックできるのでしょうか? こんなおかしいことがまかり通る行財政改革に疑問を持ちます。中立な委員でもう一度この補助金について精査すべきです。

〈政官財の癒着〉が私たちの町をがんじがらめにしていませんか。皆様はどう思いますか。(一般質問と決算委員会に取り上げました)



クリーン度の目安 市長の資産公開



「市長の資産は公開」と市の条例で決められているのを知ってますか? 権力を使って不透明な財産を得ていないか、市民のチェックを受けるためです。おかしい報告をしても罰則はありませんが……秘書広報課へ行き見てきたら……

市長の収入は、給与が年間約 1690 万円 退職金は、4 年ごとに約 1400 万円です。竹内市長は在任 12 年になります。報告によると市長の全財産は、1020 万円の貯金とゴルフ会員権 2 つ、相続した家・土地のみです。

この報告では、実態がまるで見えてこないと感じませんか? 議会で質問したところ、竹内市長は『自分は条例に基づいて報告している。(クリーンかどうかは)ふだんの自分を見れば分かってもらえる』などと答えました。

強大な権力の座にある人だからこそ、クリーンかどうか、市民が客観的に判断できる内容を備えた資産公開をするべきです! 最近ではインターネットで公開する自治体も増えているんですよ!